

Q&A

“フレイル予防で健康寿命の延伸”と“がん教育”とアピアランス支援



畠山 剛一 議員

TAKAKAZU HATAYAMA



フレイル予防で健康寿命の延伸
とがん治療のアピアランス支援

コロナの感染拡大で、家に閉じこもる日々が続きます。運動不足や加齢によつて筋肉が減少し、食事の量が減り、心身の活力が衰えるフレイル（虚弱）状態を防ぐ取組を提案します。

問 グラウンドゴルフ場の整備をおこない、認知症予防やコロモ予防で健康寿命の延伸に取り組んではどうか。

答 多くの場所で市民の方が身近にグラウンドゴルフを楽しむことができる環境づくりに努めています。

問 予防チェックシートの活用、食事のとり方や口腔ケアの個別指導を推進してはどうか。

答 高齢者の疾病予防、重症化予防、フレイル予防の一体的な取組を推進し健康寿命の延伸を

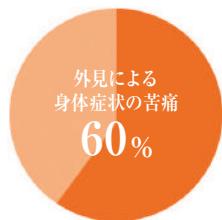
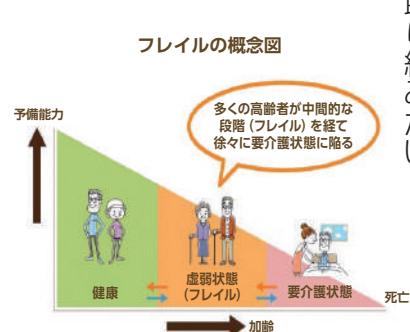
伸に取り組みたい。

答 体育振興課と健康課が連携し多方面から健康寿命の延伸に取り組みたい。

図つけてい。

問 高齢者も利用している体育施設やトレーニング室の新しい機材の導入や場所の整備に取り組むべきではないか。

答 体育振興課と健康課が連携し多方面から健康寿命の延伸に取り組みたい。



問 がん治療による外見（アピアランス）の変化で、社会生活や人間関係を避けるようになる人もいる。乳がん患者の補正具や医療用ウイッグ等の助成事業が必要ではないか。

答 令和3年度においては先進自治体の事例も参考にしながら、事業化にしていく。

Q&A

コロナ禍での「令和3年度の予算案」について



堀 讓 議員

YUZURU HORI



問 コロナワクチン接種が予算化された。接種訓練も行われるなど、積極的に取り組んでいるが、いつごろ、どこで、どういう人から始めるのか。

答 4月12日の週に、本市に1箱配送される。接種可能人数が500人と少ないため、80歳以上上の高齢者に希望を募り、集団接種会場にて実施する。4月26日には、全国の各市町村に1箱ずつ配送されるので、高齢者施設入所者を優先して行つ。5月以降のワクチンの供給予定は未定である。

問 ワクチンに関する情報の提供も必要だと思うが、どう対応するのか。

答 接種希望を募るときに、ワクチンの効果・副反応、接種対象年齢は16歳以上など、お知らせする。

答 高齢者タクシー事業の他、「高齢者おでかけ支援事業」として、タクシー利用券の交付を受けている世帯に、3千円の利用券を配布する。今後は、コロナ禍の影響等を注視し、財源も含めた上で、総合的に判断していく。

問 生活保護事業の扶養照会が国会で審議され、「義務ではない」との厚労大臣の答弁があつた。市は、どう対応を考えるのか。

答 扶養照会は、金銭的援助だけでなく、精神的援助についても照会している。申請者の個別の事情を検討し、生活歴等を丁寧に聞き取り、申請者の不利益とならないよう運用していく。

● その他の質問事項

- PCR検査の実施状況
- 生活困窮自立支援事業